

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果			
		1	2	3	4
学位論文審査基準	1			○	○
	2	◎		○	○
	3			○	○
	4			○	○
	5			○	◎
	6		○		

人文科学研究科ドイツ語ドイツ文学専攻博士前期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	尺度5 (S) (特に優秀な成績)	尺度4 (A) (優秀な成績)	尺度3 (B) (要求を満たす成績)	尺度2 (C) (合格と認められる最低の成績)	尺度1 (D) (不合格)
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえて的的確性	極めて妥当であると同時に極めて明確で適切な問題意識のもとに、ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野の先行研究を踏まえた上で学術的及び社会的意義が極めて高く認められる研究課題が設定されていること。	十分に妥当であると同時に十分に明確で適切な問題意識のもとに、ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野の先行研究を踏まえた上で学術的及び社会的意義が十分に認められる研究課題が設定されていること。	概ね妥当であると同時に概ね明確で適切な問題意識のもとに、ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野の先行研究を踏まえた上で学術的及び社会的意義が概ね認められる研究課題が設定されていること。	一定程度妥当であると同時に一定程度明確で適切な問題意識のもとに、ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野の先行研究を踏まえた上で学術的及び社会的意義が一定程度認められる研究課題が設定されていること。	妥当であると同時に明確で適切な問題意識なしに、ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野の先行研究を踏まえることなく学術的及び社会的意義が認められる研究課題が設定されていないこと。
課題を追求する上で方法論の適切性	先行研究、とりわけドイツ語で書かれた研究文献を極めて深く網羅的に検討・吟味した上で、研究分野で求められる方法論を極めて適切に採用していること。	先行研究、とりわけドイツ語で書かれた研究文献を十分に網羅的に検討・吟味した上で、研究分野で求められる方法論を十分に適切に採用していること。	先行研究、とりわけドイツ語で書かれた研究文献を概ね網羅的に検討・吟味した上で、研究分野で求められる方法論を概ね適切に採用していること。	先行研究、とりわけドイツ語で書かれた研究文献を一定程度網羅的に検討・吟味した上で、研究分野で求められる方法論を一定程度採用していること。	先行研究、とりわけドイツ語で書かれた研究文献を網羅的に検討・吟味しておらず、研究分野で求められる方法論を採用していないこと。
研究方法及び調査方法の妥当性	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野で求められる研究方法及び調査方法を極めて適切に採用し、情報や資料の収集、調査、結果の処理や分析が極めて適切に実施されていること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野で求められる研究方法及び調査方法を十分に採用し、情報や資料の収集、調査、結果の処理や分析が十分に適切に実施されていること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野で求められる研究方法及び調査方法を概ね採用し、情報や資料の収集、調査、結果の処理や分析が概ね適切に実施されていること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野で求められる研究方法及び調査方法を一定程度採用し、情報や資料の収集、調査、結果の処理や分析が一定程度適切に実施されていること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野で求められる研究方法及び調査方法を採用せず、情報や資料の収集、調査、結果の処理や分析が適切に実施されていないこと。
結論の妥当性	論述の構成が極めて的確で、論理展開と結論に整合性と一貫性が極めて高く認められること。	論述の構成が十分に的確で、論理展開と結論に整合性と一貫性が十分に認められること。	論述の構成が概ね的確で、論理展開と結論に整合性と一貫性が概ね認められること。	論述の構成が一定程度的確で、論理展開と結論に整合性と一貫性が一定程度認められること。	論述の構成が的確でなく、論理展開と結論に整合性と一貫性が認められないこと。
研究の独創性と研究分野への貢献	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野における極めて独創的かつ先端的な研究であり、当該分野に対して極めて大きな貢献をする可能性がある成果を提供していること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野における十分に独創的かつ先端的な研究であり、当該分野に対して十分な貢献をする可能性がある成果を提供していること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野における概ね独創的かつ先端的な研究であり、当該分野に対して小さな貢献をする可能性がある成果を提供していること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野における一定程度独創的かつ先端的な研究であり、当該分野に対して一定程度の貢献をする可能性がある成果を提供していること。	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学の研究分野における独創的かつ先端的な研究でなく、当該分野に対して貢献をする可能性がある成果を提供していないこと。
その他	研究成果を極めて明確かつ学問的に極めて高い水準にあるドイツ語で執筆できること。	研究成果を十分に明確かつ学問的に十分に高い水準にあるドイツ語で執筆できること。	研究成果を概ね明確かつ学問的に概ね高い水準にあるドイツ語で執筆できること。	研究成果を一定程度明確かつ学問的に一定程度の水準にあるドイツ語で執筆できること。	研究成果を明確かつ学問的に水準にあるドイツ語で執筆できないこと。